

小学校 算数B③(1) 正答率 39.9%

指導のねらい

示された情報を基に、条件に合う時間を求めることができるようにする。

課題の見られた問題の概要と結果

問題を解決するために、必要な情報を考え、整理し、与えられた複数の条件に合う時間を求めることに課題があり、約10%の児童が30分、同様に約8%の児童が37分と解答した誤答が多い。

学習指導要領における領域・内容

〔第3学年〕 B 量と測定

(3) 時間について理解できるようにする。

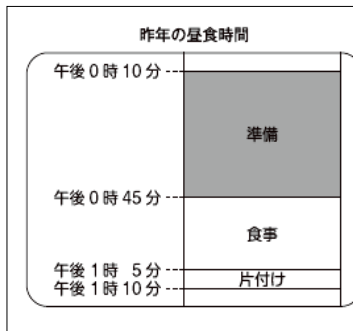
イ 日常生活の中で必要となる時刻や時間を求めること。

授業アイデア例

1 必要な情報を考え、与えられた複数の条件を整理させる。



昨年の昼食時間には問題点があったので、解決方法を考えましょう。今年は準備時間を何分にすればよいですか。



問題点

・ゆっくり準備したので、食事の時間や片付けの時間が短かった。

改善点

・昼食時間は変えない。(午後0時10分から午後1時10分)
 ・食事の時間を5分間長くする。
 ・片付けの時間を3分間長くする。



2 条件に合う時刻や時間を筋道立てて考えさせる。

・情報を図の中に整理して表させる。



いろいろな条件があって、複雑で分かりにくいです。



まず、食事の時間が5分間長くなるから準備の時間が5分間短くなると思います。

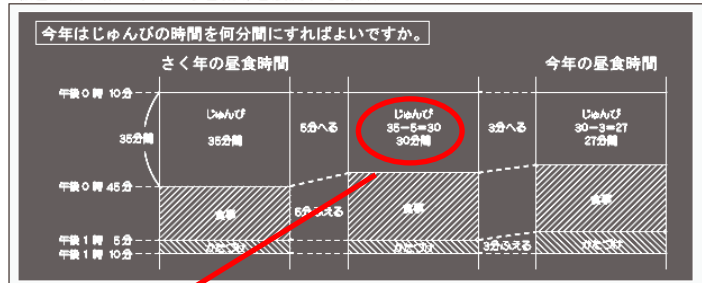
次に、片づけの時間も3分間長くなるから準備の時間が3分間短くなります。

・図と式を関連付けて考えさせる。

それでは、条件を一つずつ図に表してみましょう。



<板書の例 (第3学年で学習指導を展開する場合)>



じゅんび
35-5=30
30分間



真ん中の図は、食事の時間を5分間長くしたので、準備の時間が5分間短くなった様子を表しています。準備の時間は元々35分だったので、5分ひいた30分になります。右の図は、片付けの時間を3分間長くしたので、準備の時間を3分間短くなった様子を表しています。準備の時間は30分だったので、3分ひいた27分になります。